

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																							
新東京歯科技工士学校	昭和56年3月30日	福原 達郎	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																							
学校法人 東京滋慶学園	昭和61年2月1日	中村 道雄	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																																						
医療	歯科技工士 専門課程	歯科技工士科 I 部	平成22年文部科学省 告示第五十三号																																							
学科の目的	知識・技術・社会人基礎力を兼ね備え、歯科医療チームの一員としてグローバルな視点を持てる歯科技工士となる。																																									
認定年月日	平成26年 3月31日																																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																			
2年	昼間	1800時間	615時間	165時間	1,020時間	0時間	0時間																																			
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																					
180人	180人	46人	8人	28人	36人																																					
学期制度	前期: 4月1日～9月30日 後期: 10月1日～翌3月31日		成績評価	成績表: 有 成績評価の基準・方法 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(筆記試験、実技試験等)によって評価される。 その評価はA(90～100点)、B(80～89点)、C(70～79点)、D(60～69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。																																						
長期休み	学年始め: 4月1日 夏季: 8月の3週間 冬季: 12月下旬～翌年1月の2週間 学年末: 3月の3週間		卒業・進級条件	1つの学期ごとに全科目A～Dまでの評価を得た者。 卒業時まで全科目を履修し、学年ごとに必修単位数を取得し、学校長が適当と認めた者																																						
学修支援等	クラス担任制: 有 個別相談・指導等の対応 担任から家庭への定期的な電話連絡の他に、必要に応じて、個人面談、三者面談を実施する。		課外活動	課外活動の種類 ・歯科技工士会と連携した研修会の開催 ・各種講習会、デモンショ、学会の参加 サークル活動: 有																																						
就職等の状況※2	主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 歯科技工所、歯科診療所、歯科機材メーカー 就職指導内容 学内合同就職説明会や人事採用ご担当者を招き、情報提供に努めている。 <table border="1"> <tr> <td>■卒業者数</td> <td>66</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職希望者数</td> <td>58</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職者数</td> <td>58</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職率</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■卒業者に占める就職者の割合</td> <td>88</td> <td>%</td> </tr> </table> その他 ・進学者数: 3人 ・その他(帰国、健康不安、家庭の事情) 5名		■卒業者数	66	人	■就職希望者数	58	人	■就職者数	58	人	■就職率	100	%	■卒業者に占める就職者の割合	88	%	主な学修成果(資格・検定等)※3	国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科技工士免許</td> <td>②</td> <td>66人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科技工士免許	②	66人	62人												
■卒業者数	66	人																																								
■就職希望者数	58	人																																								
■就職者数	58	人																																								
■就職率	100	%																																								
■卒業者に占める就職者の割合	88	%																																								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																							
歯科技工士免許	②	66人	62人																																							
中途退学の現状	中途退学者 12 名 令和2年4月1日時点において、在学者159名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者147名(令和3年3月31日卒業者を含む) 中途退学の主な理由 病気、進路変更 中退防止・中退者支援のための取組 電話連絡・個人面談・三者面談実施及びSSC(学校カウンセラー)との連携強化		中退率	7.5%																																						
経済的支援制度	学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(入学前の成績優秀者への学費減免)・スカラシップ制度(在校生向け学校独自指標優秀者への学費減免) ・被災罹災者学費減免 専門実践教育訓練給付: 給付対象																																									
第三者による学校評価	民間の評価機関等から第三者評価: 無																																									
当該学科のホームページURL	URL:https://www.dtndent.ac.jp/department/dept1/																																									

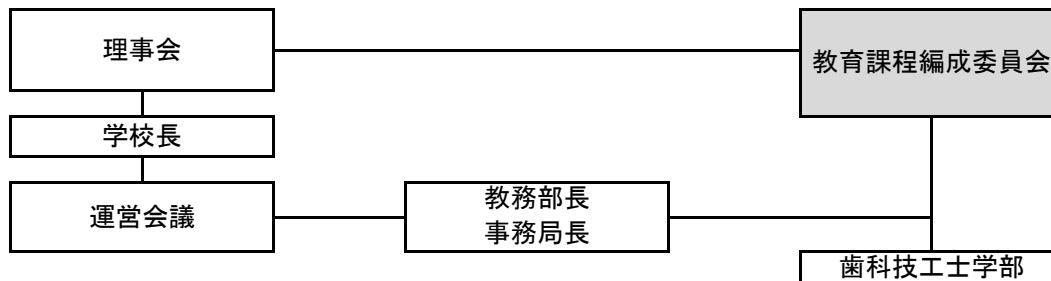
1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成において、業界が求める人材要件(知識・技術・人間性等)を明確にし、必要となる最新の知識・技術を反映するため、企業・業界団体等の意見を活かし、教育課程の改善及び改訂を定期的実施することを目的とする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、教育課程を決定する「理事会」の直下に位置付けられ、教育課程編成委員会で出された意見は、運営会議にて改善案を起案し、理事会において審議され教科課程へ反映される。



(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
森野 隆	公益社団法人 日本歯科技工士会	2020年4月1日～2022年3月31日	①②
石川 功和	一般社団法人 東京都歯科技工士会	2020年4月1日～2022年3月31日	①②
木村 正	株式会社 中央歯科補綴研究所	2020年4月1日～2022年3月31日	③
星野 世一	株式会社 ワールドラボ	2020年4月1日～2022年3月31日	③
小川 昭久	学校法人 東京滋慶学園 本部長・評議員	2020年4月1日～2022年3月31日	
福原 達郎	新東京歯科衛生士学校 学校長	2020年4月1日～2022年3月31日	
関口 崇之	新東京歯科技工士学校 事務局長	2020年4月1日～2022年3月31日	
今井 リカ	新東京歯科技工士学校 教務部長	2020年4月1日～2022年3月31日	
富野 浩子	新東京歯科技工士学校 学部長	2020年4月1日～2022年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 6月 11月

(開催日時)

2021年度	2020年度
第1回 2021年6月29日 18:00～20:00	第1回 2020年6月30日 18:00～20:00
第2回 2021年11月30日 開催予定	第2回 2020年11月24日 18:00～20:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ① 「キャリアデザインⅠ」の授業内容を見直し、実践を交えながらコミュニケーションを向上させる授業を実施。また「キャリアデザインⅡ」「歯科技工実習総合Ⅰ」の科目で歯科医療における歯科技工士の役割や将来像が明確になるような内容に変更した。
- ② 希望者選択制のゼミ教育を開講。各ゼミでは歯科医療業界のスペシャリストを講師として招き、実践的で高度な内容が学べるカリキュラムになるよう見直し、内容のレベルアップを図った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

在学中に、様々な臨床実習や歯科技工士の働き方を知ることにより、卒業後の進路決定や将来像の参考になるような機会とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

インターンシップⅠ、Ⅱでは、企業見学および就業体験を実施する。就業体験では一人企業に赴き、一日の仕事の流れを体験しながら社会人としてのマナーや作業効率を学ぶ。また、臨床的実習模型等を用いた実習を現場の担当者のもと実施する。

各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

情報技術基礎ではIT専門の企業と連携し、社会人として必要な情報リテラシーについて、さまざまな事例をもとに理解する。

また、Word、Excel、PowerPointの基本操作を習得する。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

スポーツ歯学入門では、スポーツ歯科を専門としている歯科医院と連携し、プロアスリートの外傷予防に必要な知識について事例を交えながら学ぶ。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

歯冠修復技工学応用では、最先端の技術で歯科技工を行っている歯科技工所と連携し、さまざまな症例をもとに臨床に必要な応用力を学ぶ。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップⅠ	歯科技工士が働く現場(歯科技工所や歯科診療所)の見学や体験を通して、臨床現場の仕事の流れを理解し、卒業後の進路決定の参考にする。また、訪問先で接する人々に対するマナーを知ることを通して社会性を身につける。	(株)ワールドラボ、和田精密歯研(株)、(株)中央歯科補綴研究、(株)オーリアラ、(株)ZOO LABO、(株)ジーシー等
インターンシップⅡ		
情報技術基礎	社会人として必要な情報リテラシーを理解する。Word、Excel、PowerPointの基本操作ができることを目標とする。	(株)ブレインスタッフコンサルティング
スポーツ歯学入門	スポーツ歯学の概要及びスポーツマウスガードの役割を学ぶ。学生自身の口腔内模型を用いて基本的なマウスガードが製作できることを目標とする。	みはる矯正歯科医院
歯冠修復技工学応用	製作難易度の高い各種補綴物について、その要件や製作順序を理解することを目標とする。	(有)ケイエスデンタル

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界と連携し、学会発表のための共同研究や企業主催の研修に積極的に参加する。
学部長、学科長中心に年間の研修を企画し、上記の研究成果や研修で得られた知識を学内で共有する。

※教員研修規程からの抜粋

第2条 研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

第4条 法人本部並びに学校は、教員の研修計画を策定、実施し、教員に研修を受ける機会を与えなければならない。

2 法人本部または学校が必要と認めるとき、他の機関と共同または委託し、研修を行うことができる。

第6条 教員は、日常の勤務を通し必要な研修を受けるものとする。

2 日常勤務を通じた研修は、教員の監督者がその計画を策定、実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

【3Dプリンターオペレーション研修】

対象: 専任教員

主催: デンケンハイデンタル

内容: CAD/CAM、3Dプリンターの操作方法(実習)

期間: 2020年12月24日

デジタルゼミおよびデジタル歯科技工実習短刀教員の技術向上を目指し教育に活かす。

※2020年度に計画していた専門分野における研修はコロナウィルス感染症の影響のためすべて中止・延期となった。

② 指導力の修得・向上のための研修等

【コロナ禍を乗り越えるスクールリーダーシップ～いかに学びを継続させるか～】

対象: 中学校・高等学校・大学教職員および教育関係者等

主催: 公益財団法人 電通育英会

演者: 溝上慎一(学校法人桐蔭学園理事長/桐蔭横浜大学 学長・教授)、中原淳(立教大学経営学部教授)

内容: リーダーシップについて講義とグループワーク。

期間: 2020年8月15日～8月16日

教育改革、学生指導、育成など教育に活かしていく。

【国家試験対策研修会】

対象: 専任教員

主催: 滋慶学園グループ 国家試験対策センター(動画視聴型)

内容: 医療・福祉系国家試験の問題傾向と合格対策について、報告と事例発表など

期間: 2020年8月31日

国家試験の最新の結果と問題傾向を検証結果を情報収集し、国家試験全員合格に向けての対策を検討する際の参考にする。

【マネジメント研修】

対象: 学科長

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: マネジメント教育について

期間: 2020年10月20日

Withコロナ・Afterコロナ時代におけるマネジメントについて参考にし、教育に活かす。

【キャリア教育カウンセラー研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: キャリア教育についてのディスカッションやグループワークなど。

期間: 2020年11月25日

「社会環境の変化に応じたキャリア教育に対する考え方の共有」から「アクションプランの策定および実施」ができるようにする。

【FDミドルレベル研修】

対象: 学科長

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: カリキュラムマネジメントについて手法、コーチングスキルなど。

期間: 2020年12月2日

カリキュラムマネジメントの基礎を学び、自学科のカリキュラム開発の課題発見ができるようにする。

【対話の広場 第6回「そもそも対話を考えよう！」】

対象: 中学校・高等学校・大学教職員および教育関係者等

主催: 河合塾JCERI

演者: 山辺恵理子(都留文科大学国際教育学科講師)、溝上慎一(学校法人桐蔭学園理事長/桐蔭横浜大学 学長・教授)、
中原淳(立教大学経営学部教授)

内容: 対話を取り入れた授業づくりのポイントやディスカッション、グループワークなど。

期間: 2021年3月14日

コミュニケーションの向上ねど、キャリア教育に活かしていく。

【特別講義: 予防歯科・超高齢化社会・アフターコロナを見据えた歯科技工士の働き方改革と人材育成の展望】

対象: 教務部長、学科長

主催: 全国歯科技工士教育協議会(演者 明倫短期大学教授、同大学附属診療所診療所長 小暮ミカ)

内容: 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により歯科技工士の働き方の変革を余儀なくされた今、どのような人材を育成すべきか。

期間: 2021年5月15日

今後の人材育成の観点から、医療職としてのやりがいを感じられるカリキュラムを構築していくための参考とする。

【コーチング研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶科学研究所

内容: 主体的な行動を促すコーチングスキルの習得

期間: 2021年6月25日

教職員のコーチングスキルの向上により、学生自身が主体的に考え行動できるようキャリア教育に活かす。

【FDマイクロレベル(フォローアップ)研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: 授業リフレクションの進め方。コーチングスキルを用いた事例検討。

期間: 2021年6月22日

授業の振り返りを行い、授業改善の工夫に活かす。またコーチングの基礎を学びクラス運営に活かす。

【セレクト研修①フィードバック研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶教育科学研究所

演者: 株式会社 リクルートマネジメントソリューションズ 村野 秀二

内容: フィードバック体験の振り返りやディスカッションなど。

期間: 2021年7月1日

「フィードバック」に関する基本スキル・実践でのポイント・臨む心構えを学び、部下や後輩の人材育成に活かす。

【〈学科長対象〉FDマイクロレベル研修】

対象: 学科長

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: 学修成果を評価するために、可視化による評価の厳格化、明確化による教育効果と授業改善

期間: 2021年7月6日

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

【都技生涯研修】

対象: 歯科技工士

主催: 一般社団法人東京都歯科技工士会

内容: 知識で変わる歯のかたち～天然歯形態再現のポイントPart2～

期間: 7月18日(予定)

【特別講習会】

対象: 専任教員

主催: 全国歯科技工士教育協議会

内容: 最新のデジタル器材の紹介、EDUシステムの紹介と実習実施例の紹介、CAD/CAMマテリアルと研削材の紹介等

期間: 8月30日(予定)

② 指導力の修得・向上のための研修等

【FDミドルレベル研修】

対象: 学科長以上

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: カリキュラムマネジメントについて手法、コーチングスキルなど。

期間: 2021年7月14日(水)

【教職員カウンセリング研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶科学教育研究所

内容: カウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上する。

期間: 8月2日～9月7日

【Teams研修】

対象: DX推進委員

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: Teamsの使い方、運営方法、活用事例など。

期間: 9月以降

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

今回の学校関係者評価結果ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。とりわけ、2021年度の学校関係者評価並びに委員の意見を踏まえ、昨今のコロナ禍に象徴されるような、感染状況により学習方法を柔軟に変更することが求められた際に、業界の求める知識・技術をはじめ、本来 インターンシップなどの学外実習で身につくような現場対応力やコミュニケーション力についても学内実習で習得できるような、多様性のある学習方法を開発・実践することで、より質の高い教育への改善を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2020年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
畑山 賢伸	マロ・クリニック東京	2020年4月1日～2022年3月31日	卒業生
水林 登	歯科技工士科 I 部 在校生の保護者	2021年4月1日～2023年3月31日	保護者
森 章	拓殖大学紅陵高等学校	2020年4月1日～2022年3月31日	高等学校
中島 穰	公益社団法人 東京都大田区大森歯科医師会	2020年4月1日～2022年3月31日	地域等委員
今井 久二	和田精密歯研 株式会社	2020年4月1日～2022年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>

2021年7月10日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

歯科業界の動向や最新の技術について情報提供していただき、カリキュラムの見直しを図る。
また、学生の進路決定や将来の目標設定させる際の参考とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>
2021年7月10日

授業科目等の概要

(歯科技工士専門課程 歯科技工士学科 I 部) 2021年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報技術基礎 Fundamentals of Information Technology	インターネットの使い方、使用する上でのモラルをまとめ、Word、Excel、PowerPointを使いレポート作成ができることを目標とする。	1年次前期	15	1	○			○			○	○
○			外国語 English for Dental Technology	あいさつ、海外訪問時に病気になった時、海外の展示会などで用いる代表的な表現を用いて、基本的な情報交換ができることを目標とする。	1年次後期	15	1	○			○			○	
○			造形美術概論 Compendium of Art of Dental Technology	形態の見方や表現方法の基礎を学ぶ。演習を通じて歯科技工に必要な立体的形態の表現技術を養うことを目標とする。	1年次前期	15	1		○		○			○	
○			キャリアデザイン I Career Design I	自己理解および他者理解を学ぶ。特に異文化とコミュニケーション技術を用いて自己信頼の構築を目標とする。	1年次前期	15	1	○			○			○	○
○			キャリアデザイン II Career Design II	キャリアデザイン I での学びを自らのキャリア形成に活用する。業界動向の諸事例を元に、将来像を明確にすることを目標とする。	2年次前期	15	1	○			○			○	○
○			歯科技工学概論 Compendium of Dental Technology Science	歯科医療に関する基礎知識、歯科技工の重要性及び歯科技工物について学び、その概要をまとめることを目標とする。	1年次前期	15	1	○			○			○	○
○			歯科技工士関係法規 Dental Technologist Applicable Laws and Regulations	歯科技工士として業務を行うために必要な「歯科技工士法」を中心に、歯科医療に関する法律への理解と遵守を目標とする。	2年次前期	15	1	○			○			○	
○			歯科臨床基礎 Fundamentals of Clinical Dentistry	歯科保存治療に不可欠な、仮歯及び個歯トレーの製作工程とその要点を、製作を通じて理解することを目標とする。	2年次後期	15	1		○		○			○	○
○			歯の解剖学基礎 I Dental Anatomy-Basis I	歯や口腔の概説、特に永久歯の形態的特徴を学び、実習授業においてその知識を活用できることを目標とする。	1年次前期	30	2	○			○			○	
○			歯の解剖学応用 Dental Anatomy-Advanced	筋の働きを中心とした口腔機能や歯の発生機構、硬組織及び歯周組織について、構造と経年変化を明示できることを目標とする。	2年次前期	30	2	○			○			○	
○			歯型彫刻基礎 Dental Carving	歯型彫刻に必要な器具の正しい使い方を学び、繰り返し実践することで、設定した課題を制限時間内に完成できることを目標とする。	1年次前期	30	1			○	○			○	○
○			顎口腔機能学応用 Stomatognathic Function Science-Advanced	様々な咬合位において咬合関係を理解し、実習授業にその知識を活用できることを目標とする。	2年次前期	15	1	○			○			○	
○			顎口腔機能学実践 Training of Stomatognathic Function Science	顎口腔機能の基礎的知識を咬合器装着と補綴物の製作を通じて確認できることを目標とする。	2年次前期	15	1		○		○			○	○

○			技工基本実習Ⅱ Basic Training of Dental technologyⅡ	人工歯排列について、既習技能を確認することができる。また、基本操作を規定時間内に実践し、完成できることを目標とする。	1年次 後期	30	1					○	○			○	○
○			歯型彫刻応用 Advanced Training of Dental Carving	歯のデッサンや歯型彫刻の反復練習を通して、歯の特徴について知識の確認を行う。指定した歯種の形態的特徴を表現できることを目標とする。	1年次 後期	60	2					○	○			○	○
○			歯型彫刻総合Ⅰ Comprehensive Training of Dental CarvingⅠ	デッサンと歯型彫刻の技術向上を目指す。歯の形態的特徴を見本を用いて規定時間内に表現できることを目標とする。	2年次 前期	30	1					○	○			○	○
○			歯型彫刻総合Ⅱ Comprehensive Training of Dental CarvingⅡ	デッサンと歯型彫刻の技術向上を目指す。歯の形態的特徴を見本を用いずに規定時間内に表現できることを目標とする。	2年次 後期	60	2					○	○			○	○
○			歯科技工実習総合Ⅰ Training of Dental TechnologyⅠ	チーム歯科医療の一員としての役割を、歯科衛生士科や歯科技工士科2年生との実習を通じて確認できることを目標とする。	1年次 前期	30	1					○	○			○	○
○			歯科技工実習総合Ⅱ Training of Dental TechnologyⅡ	習得した知識や技能の確認を行う。課題製作を通じて学生自らも今後の課題を設定し、技術向上に活かせることを目標とする。	1年次 後期	30	1					○	○			○	○
○			歯科技工実習総合Ⅲ Training of Dental TechnologyⅢ	課題製作や合同実習を通じて、習得した知識や技能の確認を行う。今後の課題を設定し、技術向上に活用することを目標とする。	2年次 前期	30	1					○	○			○	○
○			歯科技工実習総合Ⅳ Training of Dental TechnologyⅣ	課題製作を通じて、「スピード」、「正確さ」を身につけ、臨床現場に対応した基本操作の再確認をし、確実な知識と技能を身に付けることを目標とする。	2年次 後期	30	1					○	○			○	○
○			歯の解剖学基礎Ⅱ Dental Anatomy-BasisⅡ	口腔機能、特に頭蓋骨及び頭部を中心とした筋肉の構造と機能について明示できることを目標とする。	1年次 後期	15	1	○					○			○	○
○			顎口腔機能学基礎 Stomatognathic Function Science-Basic	下顎運動と咬合の概要を学び、歯科技工物の製作に必要な基礎知識を記述できることを目標とする。	1年次 後期	15	1	○					○				○
○			矯正歯科工学総論 Principles of Orthodontics	矯正歯科治療の概要及び技工器具と器械、材料や技工の手技について明示できることを目標とする。	1年次 後期	15	1	○					○				○
○			小児歯科工学総論 Principles of Pedodontics	小児歯科で用いる装置の製作に必要な小児期の成長発育の特徴を学ぶ。特に歯列の成長発育について明示できることを目標とする。	1年次 後期	15	1	○					○				○
○			有床義歯工学応用 Denture Techniques -Advanced	既習事項である全部床義歯及び部分床義歯について、得られた知識を構造化し、説明できることを目標とする。	2年次 前期	15	1	○					○				○
○			総合歯科工学Ⅰ Dental Technology - ComprehensiveⅠ	歯科技工業務を見据えて専門科目の枠を超え、今までの学びを総合的に復習し理解することを目標とする。	2年次 前期	30	2	○					○			○	○
○			総合歯科工学Ⅱ Dental Technology - ComprehensiveⅡ	歯科技工業務を見据えて専門科目の枠を超え、今までの学びを総合的に復習し正確に理解することを目標とする。	2年次 後期	90	6	○					○			○	○

○		総合歯科技工実習 Training of Dental Technology -Comprehensive	規定課題を時間内に製作し、技術向上を目標とする。	2年次 後期	30	1				○	○			○	○
○		スポーツ歯学入門 Introduction to Sports Dentistry	スポーツ歯学の概要及びスポーツマウスガードの役割を学ぶ。学生自身の口腔内模型を用いて基本的なマウスガードが製作できることを目標とする。	1年次 後期	15	1				○				○	○
○		デジタル歯科技工入門 Introduction to Digital Dental Technology	PCの基本操作を学び、歯科専用ソフトウェアを用いて「盛る」「削る」操作し、歯の形を作ることを目標とする。	1年次 後期	15	1				○				○	○
○		総合歯科技工入門 Introduction to Dental Technology	陶材焼付金属冠及び、金属床フレームワークのフックスアップについて学ぶ。製作工程の流れとその要点を、製作を通じて理解することを目標とする。	1年次 後期	30	2				○				○	○
○		課題研究実習Ⅰ Research and Professional PracticeⅠ	修得した知識や技術を振り返り、技術向上のために必要な技工作品と製作計画を検討立案することができる。また、実際に製作を開始することを目標とする。	2年次 前期	30	1					○	○			○
○		課題研究実習Ⅱ Research and Professional PracticeⅡ	技術向上のために設定した技工作品と製作計画を実践する。計画通りに製作を進めることを目標とする。	2年次 後期	30	1					○	○			○
○		課題研究実習Ⅲ Research and Professional PracticeⅢ	技工作品の完成を踏まえ、設定した課題と目指した技術向上について、製作過程とその結果について検証することができることを目標とする。	2年次 後期	30	1					○	○			○
○		インターンシップⅠ InternshipⅠ	代表的な歯科技工士就業施設の見学を通して歯科医療専門職として社会で働くために必要な課題を設定できることを目標とする。	1年次 前期	15	1				○				○	○
○		インターンシップⅡ InternshipⅡ	歯科技工業務の見学及び就業体験を通じて、業界で活躍するための課題を設定し、進路決定の準備を具体的に進めることができる。	2年次 前期	30	2				○				○	○
	○	国際教育 International education	国内外における歯科医療や訪問国における歯科業界の動向について、現地での研修を通じて学び、記述することができることを目標とする。	1年次 後期	15	1				○				○	○
	○	国際社会・文化Ⅰ International community and cultureⅠ	アジア歯科医療の高度化を担う人材を目指し、まずは身近な国際社会となる留学生と共同で課題設定と演習を行い、多国籍文化について記述できることを目標とする。	1年次 前期	15	1				○				○	○
	○	国際社会・文化Ⅱ International community and cultureⅡ	アジア歯科医療の高度化を担う人材になるために必要な課題と持続可能な開発目標(SDGs)の接点について話し合い、産学連携授業を通じて卒業後の課題設定をすることができる。	2年次 前期	15	1				○				○	○
合計				70科目	1,845時間(89単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年ごとに必須単位数を修得し進級する。 全科目履修で卒業となる。	1学年の学期区分	前期・後期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。